



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	225,305	4.6	16,596	13.2	15,579	23.8	9,015	12.0
24年3月期第3四半期	215,394	△0.8	14,660	△9.5	12,589	△14.7	8,050	△3.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 15,094百万円 (872.5%) 24年3月期第3四半期 1,552百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	44.85	—
24年3月期第3四半期	39.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	320,073		174,344			54.0
24年3月期	331,371		167,352			50.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 172,732百万円 24年3月期 165,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	4.5	19,500	9.8	17,200	12.8	10,000	11.3	49.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	210,383,202 株	24年3月期	210,383,202 株
25年3月期3Q	10,658,414 株	24年3月期	5,331,687 株
25年3月期3Q	201,007,800 株	24年3月期3Q	205,111,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第3四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における世界経済は、アメリカで緩やかな回復傾向が続いていますが、欧州では弱い動きとなっており、各種政策が打たれているものの、全体として回復は鈍いものとなっております。日本経済も世界景気の減速等を背景として、回復の動きは鈍いものとなっております。

このような状況下における、当社グループにおける売上は、国内については、しょうゆは前年同期を下回りましたが、食品、酒類が堅調に推移し、飲料が大きく伸長したことにより食料品製造・販売は前年同期を上回りました。海外については、しょうゆは北米・欧州を中心に順調に売上を伸ばし、食料品卸売事業も好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	23年4月1日～ 23年12月31日		24年4月1日～ 24年12月31日		金額	%	売上 比差		金額	%
	金額	売上比	金額	売上比						
売上高	215,394	100.0	225,305	100.0	9,911	104.6	—	358	9,552	104.4
営業利益	14,660	6.8	16,596	7.4	1,936	113.2	0.6	△ 151	2,087	114.2
経常利益	12,589	5.8	15,579	6.9	2,990	123.8	1.1	△ 148	3,138	124.9
四半期純利益	8,050	3.7	9,015	4.0	965	112.0	0.3	△ 102	1,068	113.3
	USD	79.17	80.43		1.26					
	EUR	111.32	103.24		△ 8.08					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	23年4月1日～ 23年12月31日		24年4月1日～ 24年12月31日		金額	%	売上 比差		金額	%	
	金額	売上比	金額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売上高	113,801	100.0	120,869	100.0	7,068	106.2	—	—	7,068	106.2
	営業利益	3,765	3.3	5,866	4.9	2,100	155.8	1.5	—	2,100	155.8
国内 その他	売上高	15,499	100.0	15,405	100.0	△ 94	99.4	—	—	△ 94	99.4
	営業利益	1,309	8.4	1,166	7.6	△ 143	89.1	△ 0.9	—	△ 143	89.1
海外 食料品製造 ・販売	売上高	35,053	100.0	36,594	100.0	1,541	104.4	—	△ 68	1,609	104.6
	営業利益	6,187	17.7	6,639	18.1	452	107.3	0.5	△ 74	526	108.5
海外 食料品卸売	売上高	65,658	100.0	67,243	100.0	1,584	102.4	—	423	1,161	101.8
	営業利益	3,042	4.6	2,915	4.3	△ 127	95.8	△ 0.3	△ 45	△ 81	97.3
調整額	売上高	△14,619	100.0	△14,807	100.0	△ 188	—	—	3	△ 191	—
	営業利益	354	—	9	—	△ 345	—	—	△ 31	△ 313	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売上高	215,394	100.0	225,305	100.0	9,911	104.6	—	358	9,552	104.4
	営業利益	14,660	6.8	16,596	7.4	1,936	113.2	0.6	△ 151	2,087	114.2
	USD	79.17	80.43		1.26						
	EUR	111.32	103.24		△ 8.08						

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、既存商品は引き続き減少傾向にあります。生しょうゆの「いつでも新鮮」シリーズで、生活者のニーズに合った「やわらか密封ボトル」450mlの新容器を発売し、テレビ宣伝を行い、新たなカテゴリーを着実に拡大させました。しかし、加工・業務用分野は得意先の深耕開拓を行いました。市場環境が厳しく、前年同期を下回りました。この結果、部門全体として前年同期を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、前期より導入の「からめる具麺ソース」が好調に推移し、主力商品の「本つゆ」も前年同期を上回りましたが、ストレートつゆやめんみの既存商品は前年同期を下回りました。加工・業務用分野は売上を伸ばしましたが、つゆ類全体として前年同期並みとなりました。たれ類は、加工・業務用分野の商品や、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」、「ステーキしょうゆ」等が堅調に売上を伸ばし、また、前期より発売した食べるタイプの「サクサク焼肉のたれ」による市場開拓もあり、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、積極的な新商品開発や店頭販促活動を行ない、また、ボックス型の紙容器に食材1品を加えて作る「できたてMy Deli」シリーズ等で新たな顧客層を開拓し、前年同期の売上を上回りました。デルモンテ調味料は、加工・業務用分野で震災による供給制約からの回復に加え、紙パック入り食品も好調で、全体として前年同期を上回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に飲用だけでなく料理用として訴求する等、テレビや雑誌などの各メディアと連携を図りながら、市場拡大につながる販促活動を積極的に実施し、好調に推移しました。デルモンテ飲料は、トマトに含まれる成分がメタボリック症候群対策に期待ができるとの研究が発表された影響による市場拡大も継続しており、トマトジュースが売上を大きく伸ばしました。また、ギフト商品を中心としたフルーツジュースや「ベジスタート」等も貢献したことにより、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を大きく上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野で、ギフト商品が苦戦したものの、加工用分野で、新規顧客を開拓したことにより、前年同期を上回りました。国産ワインは新しい価値の提案となる缶入りワインの「ラ・ラ・ヴァン」や業務用分野で売上を伸ばしました。また、今年度も「ソラリス」シリーズが「国産ワインコンクール2012」で金賞を受賞するなど、引き続き高い評価を得ており、国産ワイン全体で前年同期を上回りました。輸入ワインも市場開拓に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は1,208億6千9百万円（前年同期比106.2%）、営業利益は58億6千6百万円（前年同期比155.8%）と、増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断薬、衛生検査薬は好調に推移したものの、ヒアルロン酸が前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は154億5百万円（前年同期比99.4%）、営業利益は11億6千6百万円（前年同期比89.1%）と、ともに前年同期を下回りました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出版売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、家庭用、加工・業務用分野共に、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、最需要国であるロシアをはじめ、重点市場である、フランス、オランダ、イギリスでも順調に売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場は、前年同期並みの売上となりました。

この結果、部門全体として好調に推移しました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

香港は売上を伸ばしましたが、韓国市場が落ち込み、部門全体として、前年同期の売上を下回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

医師ルート向けの売上が引き続き好調に推移したことから、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は3 6 5億9千4百万円（前年同期比104.4%）、営業利益は6 6億3千9百万円（前年同期比107.3%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、アジア系マーケットにとどまらず、ローカルマーケットへのさらなる浸透を進め、順調に売上を伸ばしました。また、欧州、オセアニアでは引き続き日本食ブームが拡大しており、各地域で順調に推移いたしました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は6 7 2億4千3百万円（前年同期比102.4%）となりました。営業利益は2 9億1千5百万円（前年同期比95.8%）と、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は2, 2 5 3億5百万円（前年同期比104.6%）、営業利益は1 6 5億9千6百万円（前年同期比113.2%）、経常利益は1 5 5億7千9百万円（前年同期比123.8%）、四半期純利益は9 0億1千5百万円（前年同期比112.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,195億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ142億9千5百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が減少したことによるものであります。固定資産は2,005億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億9千7百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,200億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億9千8百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は447億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ163億7千5百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が減少したことによるものであります。固定負債は1,009億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億1千5百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,457億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ182億9千万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,743億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億9千2百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%（前連結会計年度末は50.0%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、最近の平成25年3月期第2四半期決算短信（平成24年11月2日発表）により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成24年6月26日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結（新規）	埼玉キッコーマン(株)	（新規設立）
	NUTRI-LINK LIMITED	（株式の取得）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,941	22,875
受取手形及び売掛金	42,274	48,891
有価証券	20,131	135
商品及び製品	21,377	22,313
仕掛品	9,386	9,605
原材料及び貯蔵品	3,462	3,847
繰延税金資産	4,283	5,487
その他	5,171	6,626
貸倒引当金	△223	△275
流動資産合計	133,804	119,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,241	41,647
機械装置及び運搬具(純額)	33,485	32,386
土地	19,764	19,868
リース資産(純額)	158	162
建設仮勘定	3,356	3,117
その他(純額)	2,163	3,065
有形固定資産合計	99,170	100,248
無形固定資産		
のれん	23,514	22,449
その他	3,365	3,498
無形固定資産合計	26,879	25,947
投資その他の資産		
投資有価証券	59,536	61,967
長期貸付金	589	791
繰延税金資産	1,538	1,491
その他	11,631	10,862
貸倒引当金	△1,779	△745
投資その他の資産合計	71,517	74,368
固定資産合計	197,567	200,564
資産合計	331,371	320,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,474	16,164
短期借入金	6,412	7,285
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	68	63
未払金	11,756	11,959
未払法人税等	980	3,096
賞与引当金	2,154	647
役員賞与引当金	81	57
災害損失引当金	50	—
工場閉鎖損失引当金	209	—
その他	3,927	5,464
流動負債合計	61,114	44,739
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	17,600	15,600
リース債務	105	101
繰延税金負債	2,688	3,646
退職給付引当金	4,198	3,968
役員退職慰労引当金	1,114	958
環境対策引当金	336	325
その他	6,860	6,388
固定負債合計	102,903	100,988
負債合計	164,018	145,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,209	21,209
利益剰余金	162,149	168,102
自己株式	△5,275	△10,348
株主資本合計	189,682	190,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	1,332
繰延ヘッジ損益	15	30
為替換算調整勘定	△22,618	△18,257
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△924	△935
その他の包括利益累計額合計	△23,920	△17,830
新株予約権	179	123
少数株主持分	1,410	1,488
純資産合計	167,352	174,344
負債純資産合計	331,371	320,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	215,394	225,305
売上原価	127,916	131,524
売上総利益	87,478	93,781
販売費及び一般管理費	72,817	77,184
営業利益	14,660	16,596
営業外収益		
受取利息	79	84
受取配当金	503	667
持分法による投資利益	267	632
受取賃貸料	371	358
デリバティブ評価益	33	1,001
その他	1,089	917
営業外収益合計	2,344	3,661
営業外費用		
支払利息	1,070	1,188
為替差損	134	1,139
その他	3,210	2,350
営業外費用合計	4,416	4,678
経常利益	12,589	15,579
特別利益		
有形固定資産売却益	1,745	266
投資有価証券売却益	31	1
補助金収入	—	854
受取賠償金	8	635
退職特別加算金戻入益	65	—
特別利益合計	1,850	1,759
特別損失		
固定資産減損損失	427	—
固定資産除却損	102	448
固定資産圧縮損	—	854
投資有価証券評価損	44	1,323
ゴルフ会員権評価損	6	29
関係会社社名変更費用	70	—
災害による損失	593	—
その他	90	69
特別損失合計	1,337	2,724
税金等調整前四半期純利益	13,102	14,613
法人税等	5,002	5,512
少数株主損益調整前四半期純利益	8,099	9,100
少数株主利益	49	85
四半期純利益	8,050	9,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,099	9,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△608	1,390
繰延ヘッジ損益	△2	20
為替換算調整勘定	△5,685	4,218
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	77	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△328	376
その他の包括利益合計	△6,547	5,994
四半期包括利益	1,552	15,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,512	15,000
少数株主に係る四半期包括利益	39	94

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により平成24年6月22日までに普通株式 5,259,000株、4,999百万円の取得を行いました。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	112,978	6,105	30,827	65,482	215,394	—	215,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	823	9,394	4,225	176	14,619	(14,619)	—
計	113,801	15,499	35,053	65,658	230,013	(14,619)	215,394
セグメント利益	3,765	1,309	6,187	3,042	14,305	354	14,660

(注) 1. セグメント利益の調整額354百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	120,038	6,074	32,105	67,086	225,305	—	225,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	830	9,330	4,489	156	14,807	(14,807)	—
計	120,869	15,405	36,594	67,243	240,112	(14,807)	225,305
セグメント利益	5,866	1,166	6,639	2,915	16,587	9	16,596

(注) 1. セグメント利益の調整額9百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。